

## 令和3年度事業報告

令和2年初頭に始まった新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、人々の暮らしが一変し、また社会経済活動に大きな影響が続いている。家畜衛生分野においても、H5N1型を主体とした高病原性鳥インフルエンザが11県で17事例発生し約109万羽が殺処分されている。また、豚熱は、ワクチンによる防疫が行われているが、感染地域は、令和4年3月末で、岐阜県、愛知県、長野県、三重県、福井県、埼玉県、山梨県、沖縄県、群馬県、山形県、和歌山県、奈良県、栃木県、神奈川県、滋賀県、宮城県の16県に拡大しており、野生イノシシについても27都府県(令和4年3月)で陽性事例が確認されている。さらに、アフリカ豚熱は、アジアでは中国を中心としてほぼ全域に拡大しており、近隣国の韓国では野生イノシシの発生地域の南下も認められている。このように国内外で感染症のまん延が続く中、動物用医薬品業界としても、継続して関係機関等と連携して家畜防疫体制の強化に協力していかなければならない状況である。

一方、薬剤耐性対策については「薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン2016-2020」に続く次期アクションプランの検討が行われている。これまで我が国では硫酸コリスチンを始めとする抗菌性物質系飼料添加物の指定取り消し等の対策が行われてきた。一方、抗菌性物質の使用量は10年前と比べ約2割増加している等 One Health の考え方を踏まえた動物用抗菌性物質(動物用医薬品及び飼料添加物)の適正使用及び慎重使用を推進するには課題が多く残されており、今後も継続した取り組みが必要となっている。

また、令和元年12月に公布された薬機法改正事項のうち、令和3年度は法令遵守規定の強化や添付文書の電子化等、動物用医薬品に関して重要な項目に係る関係省令の改正・施行が8月1日付けで行われた。

このように動物用医薬品業界を取巻く環境が大きく変化する中、本協会は動物用医薬品等の製造販売業者等を会員とする公益法人として、各種公益事業及び業界関係者相互協力事業等に必要な活動に取り組んだ。

公益目的事業としては、農林水産省の補助事業(2件)及び(独)農畜産業振興機構の補助事業(1件)を実施した。これらの事業において、緊急時に備えた動物用ワクチン供給体制の維持、アジア諸国における動物用医薬品の輸入制度調査に取り組んだ。また、動物用医薬品の承認申請資料に関する国際基準作成推進事業(農林水産省補助事業)においては、オンラインで開催された第40回 VICH 運営委員会及び第14回 VICH アウトリーチフォーラムに参加し、各ガイドライン策定にあたっての活動を行った。

さらに、自主事業として毎年開催している第53回学術講習会では、「薬機法の改

正」の他、「動物再生医療等製品の開発を支える基盤整備と産官学連携の取組み」及び「核酸・遺伝子医薬の開発動向と今後の展望－治療薬と予防ワクチン－」についての講演をオンライン生配信で行い、第42回目となった動物用医薬品管理者講習会は、新型コロナウイルス感染状況に鑑み、eラーニング方式で実施した。

次に、業界関係者相互協力事業の一環として医薬品医療機器等法違反の再発防止のためにコンプライアンス遵守活動に取り組んでおり、令和3年度もコンプライアンス推進委員会を中心に、法令遵守体制の自己点検などを行い、薬事責任担当者会議もeラーニング方式で実施した。

なお、令和3年度は理事会、委員会及び補助事業関連会議等は殆どオンライン若しくは電子的方法で実施し、新型コロナウイルス感染症のまん延防止に努めた。

## 1 会員の異動

### 1 正会員

令和2年度末の正会員数は、63所社であった。

令和3年度に以下のような入退会があった。

(1) 令和3年5月12日に、(株)ニッポンジーンが入会。

(2) 令和3年9月28日にて、内外製薬(株)が、退会。

(3) 令和3年9月末日にて、DSM 株式会社退会。

その結果、令和3年度末の正会員数は、62所社となっている。

### 2 特別会員

令和2年度末の特別会員数は、8所社であった。

令和3年度に異動はなかった。

その結果、令和3年度末の特別会員数は8所社となっている。

### 3 賛助会員

令和元年度末の賛助会員数は、10(所社・人)であった。

令和3年度に異動はなかった。

その結果、令和3年度末の賛助会員数は10(所社・人)となっている。

## 2 総会及び理事会

令和3年度において、通常総会、3回の通常理事会を開催した。これらの会議開催日・期間、場所及び議題は、次のとおりである。

### (1) 第1回通常理事会

開催日:令和3年5月12日(火)

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題:

#### 【議決事項】

第1号議案 令和2年度事業報告及び計算関係書類の承認に関する件

第2号議案 第54回総会の日時、場所、目的事項に関する件

第3号議案 入会申込みに関する件

### (2) 第54回通常総会

開催日:令和3年6月4日(金)

場所:KKR ホテル東京(白鳥の間)

議題:

#### 【議決事項】

第1号議案 令和2年度計算関係書類に関する件

第2号議案 令和3年度会費等の額及び納入方法に関する件

#### 【報告事項】(資料のみ)

1) 令和2年度事業報告及び附属明細表について

2) 令和3年度事業計画書及び収支予算書について

### (3) 令和3年度第2回理事会

開催日:令和3年10月5日(火)

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題:

#### 【承認事項】

第1号議案 コンプライアンスの推進に関する件

(令和3年度法令遵守体制の自己点検チェックリストの承認)

#### 【報告事項】

1) 令和3年度上期の事業実施状況について

2) 業務執行理事の職務報告について

3) 令和3年度下期の行事予定について

4) 会員の退会について

5) 他団体の行事に対する協賛について

(5) 令和3年度第3回理事会

日時:令和4年3月15日(火)

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題:

【承認事項】

- 第1号議案 令和4年度事業計画に関する件
- 第2号議案 令和4年度予算に関する件
- 第3号議案 令和4年度会費賦課方針に関する件
- 第4号議案 会員役員の選任に関する役員候補所社の選考に関する件
- 第5号議案 会員外役員の公募に関する件
- 第6号議案 入会申込みに関する件(廃案)
- 第7号議案 VICH 運営委員会委員の交代について

【報告事項】

- 1) 令和3年度下半期の事業活動報告について
- 2) 業務執行理事の職務報告について
- 3) 令和3年度法令遵守体制の自己点検の集計結果について
- 4) 会員の異動について
- 5) 令和4年度における主な行事予定について

### 3 総務委員会

令和3年度において、次のとおり、1回の総務委員会を開催した。

(1) 令和3年度第1回総務委員会

開催日:令和4年3月8日(火)

方法:Microsoft Teams による Web 会議

【議題】

- 1. 令和4年度事業計画に関する件
- 2. 令和4年度予算に関する件
- 3. 令和4年度会費賦課方針に関する件
- 4. 会員役員の選任に関する役員候補所社の選考に関する件
- 5. 会員外役員の公募に関する件

### 4 動物用医薬品等の学術の振興及び普及に関する事業(公益1)

動物に使用する医薬品、医薬部外品、医療機器及び再生医療等製品(以下「動物用医薬品等」という。)に関する最新の学術情報、許可・承認情報並びに関連情報を、講習会の開催、書籍・情報誌の刊行、ホームページにより提供し、動物用医

薬品等に対する一般社会の理解の醸成と動物用医薬品関連業務に関与する者の資質の向上を図り、動物用医薬品等の開発促進と安定供給に資することを目的とする事業である。

(1) 令和3年度動物薬情報担当者導入研修(第6回 MR 研修)

開催期間:令和3年7月9日(金)13時~7月30日(金)17時

方 法:HP での動画公開方式によるeラーニング。

参加者: 正会員15社、37名

(講義内容)

動物薬情報担当者の心構え、倫理と行動規範、動物用医薬品概論、関連法規、ワクチンの基礎知識、抗生物質の基礎知識、伴侶動物の疾病と治療、養殖魚の疾病と予防・治療について

(2) 第53回学術講習会

開催日:令和3年10月14日(木)

場 所:オンライン生配信(Zoom 生配信)、

オンデマンド配信:10月25日~11月1日

参加者:総計308名(会員:269名、一般他:39名)

講演内容:

1. 薬機法の改正について

農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課

係長 山本 篤

2. 動物再生医療等製品の開発を支える基盤整備と産官学連携の取組み

農林水産省動物医薬品検査所

総括上席研究官 能田 健

3. 核酸・遺伝子医薬の開発動向と今後の展望ー治療薬と予防ワクチンー

国立医薬品食品衛生研究所 遺伝子医薬部

部長 井上 貴雄

(3) 第42回動物用医薬品等製造販売管理者講習会の開催

開催方法:HP での動画公開方式による eラーニング。

公開日:令和4年2月18日(水)13:00~3月4日(金)17:00

受講者:総計469名(会員:385名 一般:52名 県32名)

講演内容:

1. 動物薬事制度について

2. 動物用医薬品等の製造販売業の許可申請の手続きについて

3. 動物用医薬品等の製造販売承認申請の手続きについて

4. 動物用医薬品等のGMP適合性調査について

5. 注意事項等情報に関する手続きについて

#### (4) 広報活動事業

公益事業活動の一層の推進を図るため、ホームページ収載事項を更新し、動物用医薬品等に関する普及並びに適正使用の推進ための広報活動を展開する。

##### ア 動物用医薬品等関係通知等を常に掲載

会員等への広報活動を実施した。令和3年度は、合計71件の通知等情報を掲載。

#### (5) 会議の開催

令和3年度において、次のとおり、活動した。

##### ア 第1回広報・教育委員会

開催期間:令和3年5月19日(水)～27日(木)

方 法:メール協議方式。

- ①JVPA DIGEST第71号の編集について
- ②JVPA DIGEST第72号の企画について
- ③国際情報135号の編集について
- ④国際情報136号の企画について
- ⑤令和3年度動物薬情報担当者導入研修の開催について

##### イ 第2回広報・教育委員会

開催期間:令和3年9月8日(水)～17日(金)

方 法:メール協議方式。

- 議題:1. JVPA DIGEST第72号の編集について
2. JVPA DIGEST第73号の企画について
  3. 国際情報第136号の編集について
  4. 国際情報第137号の企画について
  5. 第53回学術講習会の開催について

##### ウ 第3回広報・教育委員会

開催日:令和4年1月6日～17日

方 法:メール開催方式

- 議題:1. JVPA DIGEST第73号の編集について
2. JVPA DIGEST第74号の企画について
  3. 国際情報137号の編集について
  4. 国際情報138号の企画について
  5. 第42回動物用医薬品等製造販売管理者講習会の開催について

#### (6) 会報等配布事業

##### ア 動物薬事

第59巻第4号(No.703)～第60巻第3号(No.714)

毎月25日に発行

イ JVPA DIGEST

第71号 令和3年6月に発行

第72号 令和3年10月に発行

第73号 令和4年2月に発行

ウ 国際情報

第135号 令和3年6月に発行

第136号 令和3年10月に発行

第137号 令和4年2月に発行

(7) 関係図書発行

ア 動物用医薬品等製造販売指針 2022年版 の発行

発行時期: 令和4年3月

発行部数: 300部

5 動物用医薬品等の関係法令等の調査及び研究に関する事業(公益2)

動物用医薬品等に関する内外の法制度、許可・承認ガイドライン、並びに開発・改良や製造技術の向上に資する調査研究を行い、製造販売業等の許可や製造販売承認の迅速化及び円滑化への提言活動等により、開発促進と安定供給に資する事業である。

(1) 補助・助成事業

**【動物用医薬品の承認申請資料に関する国際基準作成推進事業】**

(令和3年度国庫補助事業)

動物用医薬品の承認審査資料に関する日、米、欧の3極による国際基準作成のための情報収集・分析及び調査と国際会議の開催を行い、適正な審査資料の作成及び迅速な承認審査の促進に資することを目的とする事業である。

令和3年度において、開催・出席した会議は、次のとおりである。

ア 国際会議の開催・参加

ア) 第2回 VICH 特別運営委員会

開催日: 令和3年6月21日(月) 20:30~22:00

方 法: GoToMeeting による Web 会議

議 題: VICH 運営委員会(SC)タスクフォース(TF)について等

イ) 第4回 VICH コーディネーター会議(Web 会議)

開催日: 令和3年7月9日(金) 20:30~21:30

方 法: GoToMeeting による Web 会議

議 題: 第40回 SC 会議、第14回 VICH アウトリーチフォーラム(VOF)の開催について等

ウ) 第1回 VICH SC TF 会議(Web 会議)

開催日:令和3年7月9日(金)21:30~22:30

方 法: GoToMeeting による Web 会議。

議 題: VICH 再構築に関する今後の検討作業計画等について

エ)第5回 VICH コーディネーター会議(Web 会議)

開催日:令和3年8月31日(火)20:30~21:30

方 法: GoToMeeting による Web 会議

議 題: 第 40 回 SC 会議、第 14 回 VOF の開催について

オ)第2回 VICH SC TF 会議(Web 会議)

開催日:令和3年8月31日(火)21:30~22:30

方 法: GoToMeeting による Web 会議。

議 題: 次回運営委員会での討議資料について

カ)第3回 VICH・SC-TF 会議

開催日:令和3年10月12日(火)

方 法: GoTomeeting による Web 会議

議 題: VICH 再構築に関する提案について

キ)VICH バイオロジカルズ専門作業部会バイオ医薬品サブグループ会議

開催日:令和3年10月27日(水)

方 法: GoTomeeting による Web 会議

議 題: モノクローナル抗体製品の安全性評価 GL の対象範囲及び構成  
について

ク)VICH 安全性専門作業部会

開催日:令和3年11月8日(月)~9日(火)

方 法: GoTomeeting による Web 会議

ケ)第40回 VICH 運営委員会・第14回アウトリーチ・フォーラム会合

開催日:令和3年11月15日(月)~18日(木)

方 法: GoTomeeting による Web 会議

コ)第6回コーディネーター会議

開催日:令和4年1月25日(火)21:30-22:30

方 法: Microsoft Teams による Web 会議

議 題: 第40回 SC からのレビュー及びアウトリーチフォーラム事項

サ)第4回 VICH・SC-TF 会議

開催日:令和4年1月25日(火)22:30-23:30

方 法: Microsoft Teams による Web 会議

議 題: SWOT分析及びVOF諸国への質問票について

シ)VOF training webinar follow up 会議

開催日:令和4年2月2日(火)21:30-22:00

方 法: Microsoft Teams による Web 会議  
議 題: 環境影響評価GLに関する質疑

イ 国内対応会議の開催

ア) VICH 品質専門委員会

開催日:令和3年8月20日(金)

方 法:Microsoft Teams による Web 会議

議題:原薬GMPに関するVICHガイドライン案に対する日本の業界側の意見  
について

イ) 第1回企画調整委員会

開催日:令和3年11月10日(水)

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題:1. 第40回VICH運営委員会・第14回アウトリーチ・フォーラム会合の  
予定議題に関する検討について

ウ) VICH 第1回バイオリジカルズ専門委員会(バイオ医薬品安全性試験サブ  
グループ)会議

開催日:令和4年3月3日(木)

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題:

1. VICH Mab 安全性評価ガイドライン検討作業の進捗状況の報告
2. Draft1 の改定案(2022.2.24)について

ウ 国際基準の普及啓発資料の作成

①VICH-GL30の付記 A 翻訳資料の作成

(2) 常設委員会の開催等(自主事業)

ア 国際対応委員会

ア) 令和3年度第1回国際対応委員会

開催日:令和3年6月10日(木)

方 法:Microsoft Teams による Web 会議

議 題:ICH Q8,Q9 及び Q10 の VICH への適用に関するコンセプトペー  
パー(第2案)に対する意見について

イ) 令和3年度第2回国際対応委員会

開催日:令和3年11月9日(火)

方 法:Microsoft Teams による Web 会議

議題:1. 第40回 VICH 運営委員会及び第14回アウトリーチ・フォーラム

## 会合の予定議題に関する検討について

### イ 薬事委員会

- ・令和3年度第1回薬事委員会

開催日:令和3年9月24日(金)

方 法:Microsoft Teams による Web 会議

議題:第28回動物薬事問題定例協議会の議事について

### ウ 動物薬事問題定例協議会(第28回)の開催

開催日:令和3年10月15日(火)

方法:Microsoft Teams による Web 会議

- 議題:1. 第28回動物薬事問題定例協議会提案事項に対する回答及び質疑応答  
2. 農林水産省からの要望説明  
3. 喫緊の課題に関する協議(意見交換)

### エ 動物薬事関係事項の意見交換等

- ア)動物用医薬品等を特定するための符号の容器等への表示に関する説明会

開催日:令和3年11月12日

場 所:中央合同庁舎第4号館12階

議 題:動物用医薬品等を特定するための符号の容器等への表示について

- イ)動物用ワクチンの承認申請資料の見直し等に関する説明会

開催日:令和3年12月17日

方 法:Microsoft Teams による Web 会議

- 議 題:1. フォールアウト製剤の承認申請資料の見直しについて  
2. マイコプラズマ否定試験法の改良について  
3. サルモネラ否定試験法の改良について

### オ その他

- ア) HealthforAnimals 第83回理事会

開催日:令和3年10月21日(木)21:00～

方法:Zoom による Web 会議

議題:

1. 2021年度事業報告及び2022年度事業計画の採択と各種施策の決定
2. 2022年予算計画の承認
3. 2023年以降の協会会費の方針見直し

イ) VICH 運営委員会企業側打合せ会議

開催日:令和3年11月5日(金)21:30～

方法:GoTomeeting による Web 会議

議題:第40回VICH運営委員会の予定議題に関する検討について

ウ) HealthforAnimals 第32回総会、第84回理事会

開催日:令和4年3月10日(木)22:00～

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題(総会):

1. 2021年会計報告
2. 2022年予算計画採択
3. 2022年度会員会費採択
4. 2022年事業計画の採択等

## 6 動物用医薬品等の開発・改良及び製造技術の向上に関する事業(公益3)

動物用医薬品等の開発・改良及び製造技術の向上は、動物衛生及び公衆衛生の確保、家畜・家きんや養殖魚類の健康増進による畜水産物の安定供給の確保等に不可欠である。

一方、近年、豚熱、鳥インフルエンザ及び豚流行性下痢のように野外発生により畜産農家や地域経済に甚大なる被害をもたらす疾病が発生している。また、自然環境の開発等に伴い、新しいウイルスや細菌などの病原体も出現しており、動物用医薬品等の開発・改良の重要性は年々増している。

そのため、当協会は、広く国内の動物衛生に関する諸問題や国際的な疾病流行やその動向等を調査収集し、動物の健全な育成や福祉を助長するとともに、公衆衛生の向上に資するため、より安全で有効な動物用医薬品等を開発・改良することを目指している。

さらに、動物用医薬品の供給者を会員に有する団体として、その専門性・知見等から政府や畜産関連団体が国民のために行う各種施策や要請の受け皿団体とし、国等と連携し、本事業を推進している。

### 【海外流行性疾病侵入時対応強化事業】

(令和3年度独立行政法人農畜産業振興機構補助事業)

アジア地域における流行性疾病に対する我が国の動物用医薬品の有効性等に関する情報の収集及び提供を行う事業である。

令和3年度は、タイ王国及びベトナム社会主義共和国の動物用医薬品輸入制度についての調査を行い、我が国からの輸出手続きの迅速化・円滑化を図ることとし、上期において、次のような会議を開催し、事業を推進した。

ア 第1回海外流行疾病侵入時対応強化事業推進委員会

開催日:令和3年6月25日(金)

方 法:Microsoft Teams による Web 会議

議題: 1. 令和3年度海外流行疾病侵入時対応強化事業計画について

2. 輸出対象国の動物用医薬品輸入制度調査の内容について

ア タイ王国の調査仕様書について

イ ベトナム社会主義共和国の調査仕様書について

イ 第2回海外流行性疾病侵入時対応強化事業推進委員会

開催日:令和3年12月14日(水)

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題:1. 輸出対象国の動物用医薬品輸入制度調査(中間報告)について

ウ 第3回海外流行性疾病侵入時対応強化事業推進委員会

開催日:令和4年2月28日(月)

場所:Microsoft Teams による Web 会議

議題:1. 輸出対象国の動物用医薬品輸入制度調査(最終報告)について

## 7 動物衛生向上対策に関する事業(公益4)

近年、家禽類を中心に感染・発症が認められてきた高病原性鳥インフルエンザ(H5N1亜型株)ウイルスのヒト等への感染例が報告されるようになった。また、動物の感染症が食の安全や地域経済に大きな影響を及ぼす事例が報告されている。

本事業では、家畜等及び使用者に対して甚大で致命的な被害を及ぼす人獣共通感染症等の的確な防除に不可欠な防疫資材の緊急供給を実施し、家畜等の衛生管理の向上に貢献することにより、公衆衛生の向上並びに畜水産物の安定供給の確保を図ることを目的とする事業である。

### 【動物用ワクチン等保管事業】

(令和3年度国庫補助事業)

一般社団法人全国動物薬品器材協会、動物用医薬品製造販売業者(4社)、農研機構動物衛生研究部門、大学、臨床獣医師(民間診療所、家畜共催等)、都道府県、農林水産省動物医薬品検査所、農林水産省動物衛生課等で構成される「動物用ワクチン等の安定供給委員会」を組織し、ワクチン等の流通調査・分析、保管ワクチン等の選定・保管数量案の作成、緊急時ワクチン等流通等データベースの維持・更新、緊急時ワクチン等流通マニュアルの更新・普及及び効果的かつ効率的なワクチン利用のための情報の周知とともに農林水産省消費・安全局動物衛生課長が指定したワクチン等について保管を行う事業である。

令和3年度において、次のような会議を開催したほか、ワクチン保管の状況の確認も行い、事業を推進した。

ア 第1回動物用ワクチン等保管協議会幹事会

開催日:令和3年8月3日(火)

方 法:Microsoft Teams による Web 会議

- 議題:1. 令和2年度動物用ワクチン等保管事業の報告について  
2. 令和3年度動物用ワクチン等保管事業の推進について  
(1) 事業概要等について(各所社の事業計画(予算)を含む。)  
(2) 事業実施にあたっての留意事項等について  
(3) 今後のスケジュールについて

イ 第1回動物用ワクチン等の安定供給委員会

開催日:令和3年9月27日(月)～10月1日(金)

方 法:メール会議形式

- 議題:1. 令和2年度事業報告について  
2. 令和3年度事業について

ウ 第1回ワクチンプログラム作成検討調査会

開催日:令和3年12月1日(水)

場所:Microsoft Teams による Web 会議

議題:

1. 動物用ワクチン利用の手引き(牛用ワクチン編)の改訂について
2. 動物用ワクチン利用の手引き(豚用ワクチン編)の改訂について

エ 第2回動物用ワクチン等保管協議会幹事会

開催日:令和3年12月8日(水)

方法:Microsoft Teams による Web 会議

- 議題:1. 令和3年度動物用ワクチン等保管事業の予算執行状況について  
2. 令和3年度動物用ワクチン等保管事業の今後のスケジュールについて  
3. 次年度保管ワクチン等について

オ 第2回動物用ワクチン等の安定供給委員会

開催日:令和4年2月10日(木)～16日(水)

方法:メール会議形式

- 議題:1. 令和4年度保管ワクチン等の種類、保管数量等の検討について  
2. 動物用ワクチン利用の手引き(第2版)の作成について

## 8 収益事業等

動物用医薬品等に対する理解の醸成と知識の啓発・普及に貢献するために書籍を出版する事業である。

### (1) 出版事業

ア 家畜共済薬効別薬価基準表(令和3年度版)の発行

発行時期:令和3年4月20日

発行部数:1,130部

## 9 その他協会の目的を達成するために必要な事業(相互扶助等事業)

相互扶助等事業として以下のとおり意見交換会の開催等を実施した。

### (1) 意見交換会

ア) 会員、関係団体、農林水産省関係者等との意見交換会

開催日:令和3年6月4日(金)

場所:KKRホテル東京

※新型コロナウイルス感染症拡大のため中止した。

イ) 意見交換会(賀詞交歓会)の開催

開催日:令和4年1月19日(火)

場所:KKRホテル東京

※新型コロナウイルス感染症拡大のため中止した。

### (2) コンプライアンス活動の推進

ア) 第1回コンプライアンス推進委員会の開催

開催日:令和3年9月14日(火)

方法:Microsoft TeamsによるWeb会議

議題:令和3年度法令遵守体制の自己点検チェックリストについて

イ) 第2回コンプライアンス推進委員会の開催

開催日:令和4年2月1日(火)

方法:Microsoft TeamsによるWeb会議

議題:1. 令和3年度法令等遵守体制のチェックリストの集計結果について

2. 令和3年度薬事担当責任者会議の開催について

ウ) 令和3年度薬事責任担当者会議の開催

開催日:令和4年3月28日(月)～4月1日(金)

方法:HPへの動画掲載によるe-ラーニング

議題:1. 会員からの報告(エランコジャパン株式会社)

2. 令和3年度法令遵守体制の自己点検の集計結果について

3. 薬機法改正について

(3)その他

- 令和3年度養殖衛生管理技術者養成 本科専門コース研修への参加案内  
実施主体:(公社)日本水産資源保護協会  
参加者:協会会員10名  
魚類防疫士合格:協会会員1名

以上

## 附 属 明 細 表

事業報告に明細を併せて記述したことから、附属明細表は作成していない。